

## 令和元年度 全期 事業評価書

評価対象期間	平成31年4月～令和2年3月分
施設名	鳥取市因幡万葉歴史館
指定管理者名	公益財団法人 鳥取市文化財団
指定管理期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日
施設所管課名	教育委員会事務局文化財課

## 1. 事業評価

確認する内容	指定管理者	施設所管課		
	自己評価	評価	確認方法	備考
I. 公共サービスの実施状況				
1 仕様書・事業計画に基づく事業が適切に行われたか	4	4	聞き取り	館の管理及び運営に関する協定書、仕様書を基本に実施している。館全体で情報の共有を図るとともに、課題等については施設長会議等に諮り、課題解決を図っている。鳥取市歴史博物館「やまびこ館」の分館として学芸員間での連携を始め、施設の管理等に於いても協力連携を行っている進めている。
2 基準に基づき、適切な人員配置がなされたか	3	3	書類聴き取り	
3 業務に必要な研修や職員の育成・指導が適切に行われたか	3	3	聞き取り	全職員によるAEDを使った心肺蘇生救命救急講習、消火訓練を実施。外国人おもてなし講座に参加。館内での若手職員の育成。
4 平等利用が確保され、利用者から利用許可に対する苦情がないか	3	3	聞き取り	
5 利用実績に関する帳簿が作成され適正に管理されているか	4	3	聞き取り	施設利用の管理及び入館者数・入館料、お客様からの声は日々の終礼や担当者及び館内での回覧等で常時管理している。また、定期的に財団事務局への報告連絡をしている。 <b>このことについては、所管課としては通常業務の範囲と考える。</b>
6 減免対象者は、適切に減免しているか	適切	適切	聞き取り	団体入館は、申請書で事申し込みを受け、減免に該当するか否かを丁寧に個々に対応している。
7 地域の活性化につながる社会貢献活動等への配慮はあるか	4	4	聞き取り	傘踊りの祭典や朗唱の会など地域の実行委員会と協力・連携を図りながら事業実施を行っている。教育普及活動では、地域資源を活かした体験学習などを数多く実施し、鳥取市の文化・歴史を広め、郷土愛の醸成に努めた。今年度は、特に改元に伴い4月当初から地域の多くの方への情報提供やイベントの協力を努めた。
8 満足度調査を実施し、その結果は妥当か	3	3	聞き取り	入館者にアンケート記入していただき、その内容をチェックし、職員全員で内容を共有し、問題点を協議した。
9 利用者の苦情等を把握し、業務改善を実施しているか	4	4	聞き取り	アンケート・入館者からの直接の感想や意見や苦情は速やかに館内協議し、事務局及び所管課に報告し改善・再発防止の努めた。
10 利用者拡大のための改善・努力がなされているか	4	4	聞き取り	新聞、チラシ等の広報拡充、市報。HP、フェイスブック等の活用、市内各店舗へのPRをはじめ、老人施設、テラーサービス等へ出向くなど、館情報の積極的な提供を図った。国府まつりや公民館行事等の地域イベントと連携しながら入館者の拡大を図った。博学連携事業チラシ配布実施。学校からの依頼が増加した。

II. 施設の維持管理の実施状況					
11	清掃・衛生管理は適切に行われているか	3	3	聞き取り	常に衛生管理、整理整頓に努めている。害獣侵入の痕跡があり、進入路及び清掃を徹底して再発防止に努めた。
12	備品・設備・施設の点検・修繕は適切に行われたか	3	3	聞き取り	開館25年を経過し、劣化が進んでいるために設備や備品の修繕箇所が大変多くなり、緊急の修繕等も発生している。定期点検は基より早期発見、早期対応に努めた。
13	消耗品の補充が適切に行われているか	適切	適切	聞き取り	
14	再委託先の業務を適切に管理しているか	3	3	聞き取り	
15	点検によって異常等が認められたとき、速やかに適切な処置が実施されているか	4	4	聞き取り	自主点検・業者による点検で異常を認めた場合は、速やかに安全の確保や被害の拡大の防止に努め関係機関に報告し、処置をした。
III. 施設の経営状況					
16	事業収支は妥当であるか	3	3	聞き取り	
17	施設の運営に要する経費節減の努力は、適正になされているか	4	4	聞き取り	光熱水料費等、デマンド管理を含め、入館者に合わせて空調や照明の利用を細やかに調整している。
IV. 法令等の遵守状況					
18	個人情報の管理は適切に行われたか	4	3	聞き取り	職員で情報管理の重要性について確認するとともに、提供は一本化している。 <b>このことについては、所管課としては、通常業務の範囲と考える。</b>
19	市税、国税、社会保険料等の滞納はないか	滞納なし	滞納なし	書類 聴き取り	
20	労働関係法規(労働基準法、労働安全衛生法、最低賃金法など)を遵守しているか	適切	適切	書類 聴き取り	
21	設備、施設の法定点検、必要な届出は実施されているか	適切	適切	書類 聴き取り	
V. 施設運営に関する情報の公開					
22	HP等可能な媒体を利用して情報公開しているか	4	4	聞き取り	HPや fbを可能な限り活用して広報活動を行った。イベントや展示毎のポスターやチラシの配布は元より、講座やカルチャー教室などの催しにおいても手作りの印刷物等で細やかに広報をすると共に、受付で丁寧に案内をすることを徹底した。
23	満足度調査結果等を施設で公開しているか	3	3	聞き取り	来館者からのアンケートを集計し、館内・HP等で公開している。
24	市への報告体制が確立されているか	4	3	聞き取り	設置者に対し、毎月集計を報告した。緊急の場合はもとより、報告相談事項等が発生した場合、随時電話での事前相談協議・メール・書面での報告、さらに直接面談の上相談協議に努めた。 <b>このことについては、所管課としては通常業務の範囲と考える。</b>
VI. リスク管理の状況					
25	基準に基づき保安・警備業務が適切に行われたか。鍵の管理は適切か。	3	3	聞き取り	開錠時施錠時には、保安・警備等の異常の有無の確認業務を遂行し、鍵の管理は日々の終礼で確認した。

26	緊急体制マニュアルは整備されているか、緊急時体制は職員に理解されているか	4	3	聞き取り	<p>リスク・危機管理マニュアル、緊急連絡先を、職員がいつでも確認できる場所に設置し、有事に即応できる体制としている。</p> <p>全職員名札の裏に「緊急時の行動」表を入れ緊急時に備えている。日々の朝礼。終礼、文書の回覧等で確認し共通理解に努めている。</p> <p>このことについては、所管課としては、通常業務の範囲と考える。</p>
----	--------------------------------------	---	---	------	---

## 2. 指定管理者の経営状況に関するコメント

指定管理者	<p>1.施設の老朽化が進むなか、主催事業とともに、共催・貸館事業、さらに歴史ツアー等をはじめとする各種イベントを開催し、来館者の満足度の向上を図り、入館者増に努めた。</p> <p>2.博学連携事業に伴った学校等の連携と職場体験の受入れ、近隣町行政への広報依頼、老人施設、デーサービス等へのPRなど、身近に立寄ることができる教育・文化施設としての利用向上に努めた。</p> <p>3.入館料収入の増加に努めるとともに、商品開発を行い関連物品販売事業での自主財源確保に努めた。</p> <p>4.指定管理施設全体の年間利用者数では、各施設とも市民・観光客への利用促進を図り、過去最高の来館者数を記録した。</p>
施設所管課	<p>指定管理者は、公益財団法人として指定管理施設の管理運営業務を公益目的事業として行っている。施設全体の年間利用者数は増加しており、主催事業、自主事業ともに利用促進の成果が出ている。団体の経営状況からみれば収支は安定して推移しており、財政状況に大きな問題はないと見られる。しかし、各施設の事業収支を見ると、計画（予算）と実績（決算）で収支のバランスが崩れており、各施設の今後の指定管理による経営を考えれば、改善する必要があると思われる。</p>

## 3. 自主事業の実施状況に対するコメント

指定管理者	<p>市民目線にたった 企画展示・イベント・各種講座・カルチャー教室・万葉衣装試着体験・物品販売・喫茶等を企画運営し、施設の積極的活用を図り、利用者・入館者の増加にむけて努力した。</p>
施設所管課	<p>万葉集とその時代に関連した各種講座・体験イベントや、国府地域の歴史文化について学んだり体験できるイベントに積極的に取り組んでいる。また、地域住民団体とも連携して、地域に親しまれる文化施設として効果を上げている。特に今年度は、改元に関連する講座やイベントに取り組み、利用者が拡大した。今後も地域の歴史文化の情報発信拠点として取り組んでほしい。</p>

## 4. 総括コメント

指定管理者	<p>今年度は、4月1日に新元号が万葉集を典拠とする「令和」となることが発表されたことから、急遽「令和制定特別展」「令和制定記念展～万葉びとの心とことば」を実施した。この他、これに伴い、講座やイベント等も実施したことにより入館者の増加となった。(約1.3倍)</p> <p>開館25周年を記念して、特別展「安野光雅が描く心ふるさと奈良明日香」をはじめ、大伴家持の歌を鳥取書道連盟役員が書いた「万葉書道展」、国府町出身で鳥取県を代表する画家の作品展「山本恵三展」を開催した。また共催展として「第12回池田家墓所写真コンクール作品展」の他、「第32回鳥取書道代表十人展」、パネル展「鳥取の記念物」、市民ギャラリーとしては「万葉剪画展」「カルチャー教室作品展」等を実施した。また、教育普及啓発事業として「勾玉づくり」「まんれきクイズラリー」「子ども草木染」「お正月寄せ植え作り」講師を招聘しての「万葉集講座」(4回)、「歴史講座」、「雅楽の調べ」、「旧正月万葉茶会」を開催した。今年度の入館者数は昨年度の3万人を超えた。(前年度対比127.47%)傘踊りの祭典や万葉集朗唱の会等のイベントの事業はの観覧者も多くなり成果を得ている。カルチャー教室は入会者が定着してきた。(短歌・俳句・水彩画・ポタニカルアート・陶芸・ソフト粘土・つまみ細工・等)。切り絵やガラスアート・ヨーガ等新たな教室の開設に努めた(全25講座)。また、除草や植木の剪定・館内ガイド等のボランティア活動の登録者が増え、活動への参加者も毎回多くなってきている。(15人前後)館内案内のボランティアガイドは延べ203人となった。さらに、新規登録者の増加を図るため、今後も引き続き広報に重点を置く。施設の維持管理については、経年劣化が多発しているため、年次計画を立てて修繕を行い、快適・安全な管理運営に努めている。開館してから25年が経過し、常設展示においては開館当初から比較すると、来館者の満足度を上げることが困難な状況となってきている。大幅なリニューアルの検討が必要である。企画展示や教育普及活動・イベントでの集客に向け、来館者への丁寧な対応に心がけ、リピーターの増加に努めてきた。更に、市民の皆様、特に地域の方々に理解と協力を得るための努力と、周辺市町村・県外からの来館者を確保するために、HPやfbを有効活用し、鳥取市歴史博物館「やまびこ館」を始め各施設等と連携し、情報提供に重点を置いた取り組みをしていきたい。</p>
施設所管課	<p>今年度は、新元号発表に伴い、急遽「令和制定特別展」など万葉集にちなんだ事業を多彩に行い、入館者数は約1.3倍も増加となった。ボランティア活動の登録者も増えており、地域住民の歴史文化への関心が向上している。一方、平成6年の開館から24年が経過し、建物の経年劣化、老朽化が進んでいる。今後、建物の大規模修繕も検討しつつ、「日本遺産」の情報発信拠点としても機能強化を図っていきたい。</p>

確認方法	書類、聞き取り、現地確認
------	--------------

評価区分	4	求める管理水準を満たし、かつ水準よりも優れた内容がある
	3	求める管理水準が適切に実施されている
	2	求める管理水準に概ね沿った内容であるが、一部に課題がある
	1	求める管理水準に沿っていない内容があり、改善を要する
	0	求める管理水準が遵守されてなく、不適切な管理運営がなされている







まんれき!クイズラリー	予定	27日～	～6日		20日～	～18日							
	実施	27日～	～6日		20日～	～18日							
	備考	63人	169人		42人	123人							
子ども草木染め工房	予定				25日								
	実施				25日								
	備考				31人								
万葉集講座	予定			16日				2日	7日		1日		
	実施			16日				2日	7日		1日		
	備考			51人				27人	30人		10人		
歴史講座	予定							16日			29日		
	実施							16日			中止		
	備考							16人					
ジオサイトバスツアー	予定							5日					
	実施							5日					
	備考							1人					
寄せ植えづくり	予定									8日			
	実施									8日			
	備考									31人			
第26回旧正月万葉茶会	予定										26日		
	実施										26日		
	備考										230人		
短歌づくり教室	予定										26日		
	実施										26日		
	備考										12人		
雅楽の調べ	予定								3日				
	実施								3日				
	備考								224人				
第22回因幡の傘踊りの祭典	予定					24日							
	実施					24日							
	備考					4,000人							
第22回万葉集朗唱の会	予定							20日					
	実施							20日					
	備考							1,934人					
第20回曲水の宴	予定							20日					
	実施							20日					
	備考							23人					
因幡万葉歴史館カルチャー教室	予定	22回	22回	22回	22回	22回	22回	23回	23回	23回	24回	23回	22回
	実施	22回	22回	22回	23回	21回	21回	23回	22回	21回	22回	21回	20回
	備考	212人	197人	205人	216人	187人	211人	212人	179人	184人	204人	188人	169人

## 【資料2】

施設名 鳥取市因幡万葉歴史館

## 1. 施設利用者数

項目	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
入館者数(人)	25,700	23,774	25,000	23,650	27,000	30,084	25,000	38,348		
伝承館他(件)		4		7		5		7		
カルチャー(人)		2,196		2,118		2,238		2,364		

## 2. 事業収支

項目	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
指定管理料	40,717,000	40,717,000	40,717,000	40,717,000	40,717,000	40,717,000	40,717,000	41,094,009	40,717,000	
事業収入(自販機除く)	3,800,000	3,642,048	3,800,000	3,473,593	3,800,000	3,647,104	3,800,000	4,245,964	3,800,000	
自販機収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
入館料収入	800,000	864,410	800,000	614,062	800,000	1,066,939	800,000	2,432,833	800,000	
使用料収入	60,000	45,750	60,000	48,940	60,000	108,411	60,000	57,870	60,000	
委託料収入	2,084,000	2,084,000	2,084,000	2,410,000	2,084,000	3,615,688	2,084,000	4,331,437	2,084,000	
補助金収入	0	0	0	0	0	0	0	3,400,164	0	
民間助成金収入	0	0	0	200,000	0	0	0	0	0	
雑収入	0	0	0	2,600	0	0	0	0	0	
収入計(A)	47,461,000	47,353,208	47,461,000	47,466,195	47,461,000	49,155,142	47,461,000	55,562,277	47,461,000	0
支出計(B)	47,839,000	45,686,947	47,839,000	48,877,712	47,839,000	53,119,343	47,839,000	57,425,958	47,839,000	0
事業収支A-B	△ 378,000	1,666,261	△ 378,000	△ 1,411,517	△ 378,000	△ 3,964,201	△ 378,000	△ 1,863,681	△ 378,000	0